東京秋工会「会費納入」のお礼

東京秋工会会員の皆様におかれましては益々ご健勝で御活躍のこととおよろこび申しあげます。

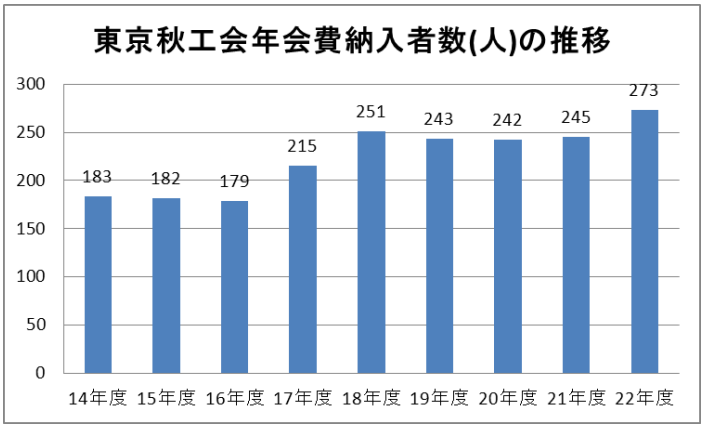
「東京秋工会発足７０周年記念総会・懇親会」を平成 22 年 11 月 6 日(土曜日)、アルカディア市ヶ谷[私学会館](東京都千代田区九段北 4-2-25)で開催しました。記念総会には母校の船木賢咲第 28 代校長はじめ多くのご来賓をお迎えし、経済産業省主催の高校生論文コンクールにおいて最優秀賞を獲得し、ドイツの学会において英語で発表した機械科３年生４人に、同論文を発表してもらいました。また、神の魚「ハタハタ」の生態を調査し続けてきた、秋田県立大学生物資源科学部杉山秀樹客員教授に「秋田に住む５００種の魚」というテーマで講演をいただき、記念総会に相応しい盛況な総会となりました。

また、三平俊悦会長(昭和 39 年建築科卒)は、東京秋工会７０周年の歩みについての経緯報告と澤木誠一前会長(昭和 26 年電気科卒)はじめ長年本会に貢献した先輩諸氏に感謝状を贈呈し、また、母校には最新の液晶テレビを寄贈しました。挨拶では、「歴史と伝統ある東京秋工会 70 年を契機に初心にかえって、同窓会組織の充実を図ること、広報誌ＫＡＮＡＳＡ、東京秋工会ホームページを活用して会員相互の親睦活動、広報活動を推進すること、さらに、母校の発展に寄与すること」を力強く宣言しました。

続いて母校の船木賢咲校長は、工業高校の文武一等賞を目指すと表明、「大学進学はじめ、駅伝、ラグビー、柔道、ソーラーカー等着実に成果が表れてきている。秋田工業高校の生徒の実力の高さを改めて認識している」と述べられました。

山形俊男氏(S39M 卒)、鈴木彦之氏(S31M 卒)による日本民謡を聴きながら懇親会が始まり、同窓生による詩吟、秋田民謡、尺八演奏、男鹿のなまはげも飛入り参加し盛り上がり、次回の再会を約しました。

最後になりましたが、今年も東京秋工会会報「KANASA」の別添に「会費納入のお礼」(本紙)を同封することにしました。会費納入数が着実に増加したおかげで 70 周年記念行事を実施することができましたことに衷心よりお礼を申し上げます。「平成２２年度の会費納入者２７３名のリストを裏面に掲載」しました。



東京秋工会の決算報告書に示すとおり、発足 70 周年記念事業に相当な費用を使い、繰越金が減少しました。今後も、東京秋工会の運営・活動には幹事一丸となって費用の節減に努めますので、引続き財政上のご支援をお願い申し上げます。

東京秋工会会長　三平　俊悦

文責　　同　幹事長　小野　鐵雄